

2025年度 教員の自己点検・自己評価報告書

所属学部 学科	職位	氏名
経営学部	准教授	Tran Thi Tuyet Nhung
最終学歴	学位	専門分野
京都大学大学院経済研究科博士課程修了	博士	経済学

I 教育活動

○理念・目標・方針・計画（方法）

【理念】

学生が自分の能力や可能性を最大限に発揮し、成長できるように指導と支援をする。

【目標】

学生との相互インタラクションを行うことで学生の理解力を向上し、知識を定着させる。ゼミではビジネス実践を通じてアクティブラーニングを強化する。

【方針】

学生の能力や興味に適した講義をデザインし、学生が能動的な学習を行えるように支援する。グループワークや対話的な学習環境を提供し、異なる意見や視点を尊重しながら発言やディスカッションを促進する。

【計画（方法）】

講義では「講義」と「アクティブラーニング」を組み合わせる。教科書の知識や最新知識、学術動向等多くの情報が伝えられる「講義」のメリットと、学生の発言・ディスカッション・発表を促進する「アクティブラーニング」のメリットの両方を取り入れて、知識の定着度を高める。ビジネスで実際にあった事例をもとに理論を解説し、これによって学生に理論および実際ビジネスのノウハウを提供する。

○担当科目（前期・後期）

（前期）

経営管理論
アジア経済論
アジアの文化と社会
専門プロジェクトⅠ
基礎演習Ⅰ
専門演習Ⅰ
専門演習Ⅲ

（後期）

インターネットビジネス研究
専門プロジェクトⅡ
基礎演習Ⅱ
専門演習Ⅱ
専門演習Ⅱ

○教育方法の実践

ミニケースを用いたケーススタディを授業に導入している。短い事例を活用することで、学生の理解促進と主体的な思考を引き出している。

○作成した教科書・教材

以下の教科書の執筆を進めており、2026年度完成予定である。

- Tran, T. T. N., Terashima, M., Rolfe, J. J., & Larsen, M. (forthcoming). *Japanese business management today: Concepts, cases and practices*. Springer Nature.

本書は、日本の経営管理に関する理論と実践を体系的に整理し、ケーススタディを取り入れた教育用教材として構成している。

○自己評価

講義とアクティブラーニングを効果的に組み合わせ、学生の理解促進と知識の定着に努めている。特に、ミニケースを活用したケーススタディにより、学生の主体的思考や発言を引き出し、双方向型の授業を実現している。また、多様な科目およびゼミ運営を通じて、理論と実践を結びつけた教育を展開し、学生の実践的能力の向上に貢献している。さらに、教育内容の体系化を目的とした教科書執筆にも取り組んでおり、教育の質向上に継続的に取り組んでいる。

II 研究活動

○研究課題

研究課題 1 :

A Comparative Study on the Mechanism of a Dual Model Retail in Emerging Markets from a Dynamic Capabilities Perspective

研究課題 2 : 日本女性起業家の起業プロセスにおける価値共創のメカニズム

○目標・計画

【目標】

国内・国際学会の発表を積極的に行い、最終的にジャーナルに投稿し、論文を掲載する。科研費を効果的に活用して多くの研究成果を出す。

【計画】

国内ではアジア市場経済学会、国際カンファレンスに関しては、Academy of Managementに投稿する。

○2018年4月から2026年3月の研究業績（特許等を含む）

（著書）

Tran Thi Tuyet Nhung, 寺島雅隆 (2025) 『日本企業の経営管理がよくわかる！経営管理論』三恵社 2025年3月 (ISBN: 9784824400970)

（学術論文）

- Tran, T. T. N., Nguyen, N. M., & Truong, H. Q. (2025a). *How international retailers develop retail ecosystems in emerging markets*. Academy of Management Proceedings,

2025(1)

- Tran, T. T. N., Nguyen, N. M., & Truong, Q. H. (2025b). Building competitive retail ecosystems: Insights from an emerging market. *Proceedings of the 2025 American Marketing Association Winter Academic Conference*.
- 寺島, 雅隆, & Tran, T. T. N. (2025). シラバス分析による学生が望む大学授業とは何か—『経営管理論』授業アンケートの分析から— 東邦学誌, 54(2), 25–40.
- 寺島, 雅隆, & Tran, T. T. N. (2024). シラバス分析による「経営管理論」の経年的変化 —テキストマイニングを用いた探索的研究—. 東邦学誌, 53(2), 1–16.
- Tran, T. T. N., & Muramatsu, J. (2024). Reconstructing global competitiveness of Japanese firms: A paradigm shift driven by consumer behavior and ICT advancements. *Proceedings of the 2024 International Conference of Asian Marketing Associations*, Osaka, Japan.
- Tran, T. T. N. (2024). How Japanese shopping streets can be revitalized: An exploration from a dynamic capabilities perspective. *The Conference Book of Proceedings, 17th Annual Conference of the EuroMed Academy of Business*, 1380–1382.
- Tran, T. T. N., Nguyen, N. M., Zhang, J., & Fujioka, Y. (2023). Comparison between Thai and Japanese retailers in the Vietnamese market: Examining the issue from a dynamic marketing capabilities perspective. *Journal of Japan Academy for Asian Market Economics*, 26, 1–9.
- Tran, T. T. N. (2023). Sustainability of traditional retail in an emerging market: A conceptual framework applied to a Vietnamese wet market. *Asia Marketing Journal*, 24(4), 143–151.
- Tran, T. T. N. (2022). Sustainability of traditional retail in an emerging market. *Proceedings of the 2022 International Conference of Asian Marketing Associations*, 119.
- Tran, T. T. N. (2022). Mechanism of building a sustainable competitive advantage of Japanese retail firms in emerging markets: A dynamic capabilities perspective. *Journal of Japan Academy for Asian Market Economics*, 25, 1–9.
- Tran, T. T. N., & Nguyen, M. N. (2022). How do local retail firms outperform foreign multinational corporations in emerging markets? *Sixth Global Strategy and Emerging Markets Conference (GSEM)*. Hosted by Jack Austin Center for Asia Pacific Business Studies – Simon Fraser University, Emerging Markets Institute – Cornell University, Center for Global Business – University of Texas at Dallas, Vancouver, Canada.

- ・ Tran, T. T. N., & Hara, Y. (2022). 海外進出の成功要因としての組織能力 - 日系小売企業の東南アジアへの事業展開の事例から. *Proceedings of the 10th Annual Conference of the Japan Society of Serviceology*, 311-315.
- ・ Tran, T. T. N. (2021). シェアリングエコノミーにおける価値共創に関する一考察 - 子育てと教育のシェアの事例から - . サービス学会・第9回国内大会・発表論文要旨
- ・ Tran, T. T. N., & 原, 良憲. (2021). グローバル・バリュー・チェーン (GVC) における新興国の地場企業の発展可能性に関する実証的研究 - ベトナムのアパレル産業の事例から - . サービス学会・第9回国内大会・発表論文要旨

(学会発表 2025年度の学会発表)

国際学会発表 (2件)

- ・ Tran, T. T. N., Nguyen, N. M., & Truong, Q. H. (2025, July). How international retailers develop retail ecosystems in emerging markets. The 85th Annual Meeting of the Academy of Management, Copenhagen.
- ・ Tran, T. T. N., & Muramatsu, J., Nguyen, N. M., & Truong, Q. H. (2025, May). Can the circular economy boost Japanese competitiveness in the global market? AMA Global Marketing SIG Conference, Sydney. ・

国内学会発表 (1件)

- ・ Tran, T. T. N. (2025年6月) 小売・サービス企業のグローバル競争優位性に関するシステムティックレビュー：理論的枠組みと実証研究の動向. アジア市場経済学会・第29回全国研究大会.

(特許)

無し

(その他)

○科学研究費補助金等への申請状況、交付状況 (学内外)

[2025年度に完了した研究]

- ・ A Comparative Study on the Mechanism of a Dual Model Retail in Emerging Markets from a Dynamic Capabilities Perspective

日本学術振興会 科学研究費助成事業・若手研究 2023年4月 - 2026年3月

[2025年度~2026年度における実施中の研究]

- ・ 日本における新興企業と起業家精神に関する探究 - 破壊的イノベーション創出可能生を中心に -

愛知東邦大学 地域創造研究所 2025年4月 - 2027年3月

Tran Thi Tuyet Nhung, 寺島雅隆, Johnson Jordan Rolfe, Michael Larsen

○所属学会

Academy of Management
American Marketing Association
アジア市場経済学会
商業学会
サービス学会

○自己評価

新興国市場における小売エコシステムに関する研究を中心に、国際学会（Academy of Management、American Marketing Association 等）での発表およびプロシーディングス論文の公表を継続的に行い、国際的な研究発信を積極的に展開している。特に、Academy of Management Annual Meeting は経営学分野における世界最大級の国際会議の一つであり、同学会での発表を通じて最先端の研究動向を把握するとともに、多くの第一線の研究者から貴重なフィードバックを得ることができた。これにより、自身の研究に対する理解を深めるとともに、研究への強い動機付けと意義を再認識する機会となっている。科研費（若手研究）を基盤として、体系的かつ継続的に研究を推進し、著書の出版や学術論文の発表など一定の研究成果を挙げている。特に、理論と実証の両面から、新興国市場および日本企業の競争力に関する知見を蓄積している。今後は、これまでの研究成果を基にジャーナルへの投稿・掲載をさらに推進し、研究の国内・国際的インパクトの向上を目指す。

Ⅲ 大学運営

○目標・計画

【目標】

学生委員会および国際交流センター運営委員会に参加し、それぞれの活動において積極的に役割を果たす。これらの活動を通じて、大学の教育環境および運営の充実に貢献することを目指す。

【計画】

各委員会のスケジュールに基づいて活動する。

○学内委員等

学生委員会
国際交流委員会

○自己評価

学生委員会および国際交流委員会の一員として、大学運営に関わっている。学生支援や国際交流の推進において、関係者と連携しながら役割を果たせるよう努めていた。今後も、委員会活動を通じて貢献できるよう努力する。

Ⅳ 社会貢献

○目標・計画

【目標】

専門知識を活かし、地域住民や一般の方々を対象とした講演会やセミナー等を通じて、地域社会への知的貢献を果たす。

【計画】

愛知県を中心とした地域で開催される講演会やセミナーの情報を継続的に収集し、大学の枠を超えた学びの機会の提供に積極的に関与する。

○学会活動等

アジア市場経済学会 理事（西部）。

アジア市場経済学会 研究委員会委員。

○自己評価

学会において理事および研究委員会委員を務め、学会運営および研究活動の推進に貢献している。また、専門分野に関する知見を社会へ還元することを意識し、地域社会との連携や知的貢献の機会の拡大に努めている。今後は、講演会やセミナー等への参画をさらに推進し、社会貢献活動の充実に努める。

V その他の特記事項（学外研究、受賞歴、国際学術交流、自己研鑽等）

研究データ解析の学習

データサイエンスおよび学術研究における AI の活用・進展の学習 等

VI 総括

本年度は、教育・研究・大学運営・社会貢献の各領域において、バランスよく活動を展開し、一定の成果を挙げることができた。教育面では、講義とアクティブラーニングを組み合わせた授業設計やミニケースの活用により、学生の主体的な学びを促進し、理解度および実践的思考力の向上に貢献した。また、教科書の執筆を通じて教育内容の体系化にも取り組み、教育の質向上に寄与している。研究面では、新興国市場における小売エコシステムに関する研究を中心に、国際学会での発表や論文公表を継続的に行い、国際的な研究発信を推進した。科研費を基盤とした研究の遂行により、理論的・実証的な知見の蓄積を進めている。今後、これまでの研究成果をジャーナルへの投稿・掲載へと発展させ、研究のプレゼンス向上を図る。また、学会活動を通じて研究コミュニティへの貢献を果たすとともに、社会への知的還元にも取り組んでいる。AI時代において研究・教育の変化が求められる中、データサイエンスやAIの活用を取り入れた教育手法や研究手法の学習を進め、今後も教育・研究の充実に努めていきたい。

以 上